

【砥部町】
校内D X計画

1. ペーパーレス化の促進

(1) F A X利用・押印の見直し

教育委員会、町内学校間でのやり取りにおいて、押印については一部を除いて既に省略としているため、グループウェアの活用、ファイルサーバーによるデータ共有、web アンケートの活用により紙媒体でのやり取りを抑制する。

また、慣習的にF A X等紙媒体を利用している業務を見直し、電子媒体利用へ移行する。

(2) 家庭との連絡をデジタル化

学校と家庭間の緊急連絡、行事連絡、欠席連絡等は連絡アプリもしくは電子メールを利用して行い、文書等は電子媒体での周知を行う。

家庭への調査等をweb アンケートの活用により実施、集計等の負担を軽減する。

(3) 汎用のクラウドツールの活用

Google Workspace for Education のアプリと1人1台端末を活用し、会議や研修等においてペーパーレス化や教職員の情報伝達の即時性を重視したツールの活用を励行する。

2. 次世代の校務デジタル化に向けた環境整備

現在導入している統合型校務支援システムはオンプレミス型を採用しているが、教職員が場所等にとらわれない働きやすい環境を整備するため、クラウド型の環境構築を行い、対応する校務支援システムの導入、校務系と学習系の統合端末化、ネットワークの整備、ゼロトラスト型のセキュリティ対策の構築、対応するセキュリティポリシーの整備等について次期機器更改時に移行することを目標に検討を行う。